

5
1/1

問1 ア (○) プトレマイオス)

6
0/1

イ (✓))

要復習

単円錐図法を正積になるように改良したフランス人はボンヌである。

7
0/1

ウ (✓) TOマッブ)

語句の重複。

8
1/1

エ (○) ヌルカトル)

9
1/1

オ (○) 多面体)

10
0/1

カ (✓) 60)

UTM図法は地球を60のゾーンに分け、
ゾーン毎に投影するので、同一ゾーン内、
つまり経度差6°の範囲なら平面上で図がつかえる。

11
2/2

問2 (○) 南緯60°, 西経40°)

東京はX点の対蹠点なので図の外周。
X点-外周は地球半周分の約2万km。
よって、東京-パリ=パリ-X点=約1万km。

12
0/2

問3 (✓) 約2万km)

13
4/4

問4 a (○) 2万5000分の1) b (○) 計曲線が50m間隔で書かれている。

14
4/4

問5 (○) 自然堤防で果樹園に利用される。 (○) 後背湿地で水田に利用される。

畑への利用も多い。

河川の侵食作用の影響の前に
河川流域の地盤が隆起していることを指摘したい。(2)

15
5/10

問6 (○) 河岸段丘。河川の侵食作用でできた、段丘面と段丘崖の
見られる地形である。

河川の侵食でできた。(1)

従来の谷底が取り残されてできた。(1)
⇒ 段丘面と段丘崖が階段状に配列して形成された。(1)

結果として、
河床が掘り下げられた。

16
2/2

問7 (○) (d))

【合格への一手】

<本問のポイント>

地図の基本事項は理解できています。地形の判読に由来する
地形図の読図問題の解き方に慣れおく必要があります。

<要復習>

主な地形が、どのように地形図上で表現されるかを確認するとともに、
地形の成因や主な土地利用も確認しておきましょう。